

保育計画成果報告

法人名等	学校法人小泉学園
施設名	ナーサリースクールいずみ大谷田
報告書（役職）	新井 拓 （園長）
住所・連絡先	東京都足立区大谷田 1-1-9-101
	☎ 03-3629-0246
	E-mail oyata@koizumi-gakuen.com

○タイトル（保育計画）

ミュージックステップ音感教育、歌唱活動（頭声発声による合唱）

○主な助成備品

電子ピアノ 3 台

1. 保育計画策定の目的

乳幼児期の脳は特に聴覚からの刺激に敏感です。この一生に一度だけの期間に、絶対音感の定着を誰にでも可能にするのがミュージック・ステップ(MS)です。

聴力の盛んな時期である乳幼児にとっての音感学習は、赤子が母国語を自然に話せるようになるのと同様に、苦労要らずの負担の少ない最適な学習体験です。MS では発達段階に応じて、リトミックや聴音、聴唱、聴奏から頭声発声による歌唱、コーデルや鍵盤ハーモニカ、本格的な楽器を用いた合奏まで音楽の基礎学習の全てを体験します。これらの体験を通して、乳幼児期がその定着の最盛期である絶対音感が自然に身に付いてきます。また音楽を楽しむ愛する心が豊かになって、善悪美醜の違いもよく分かる子供に育ちます。また、音楽的な感性を磨く他にも、集団による音楽活動を通して自主性や判断力、集中力、協調性、積極性などが身に付き、人としての資質が育まれます。更に、MS に取り組むと幼児期に働きのよい右脳が十分に刺激されるので、それに伴いその後の左脳の発達にも良い影響が表れます（ゴットフリート・シュラウク、1995）。脳全体の働きが大いに促されて頭の働きの良い子に育ちます。

2. 具体的な実施内容

○ミュージックステップ音感教育（※各学齢ともに毎日の活動として取り組む）

- ・3 歳児以上：先生がピアノを使用しながらリトミックや単音・和音の聞き取り、鍵盤ハーモニカの演奏に取り組む。各学齢の年度最終目標として器楽合奏を行い、より表現豊かな演奏を通して成功体験を得る。
- ・2 歳児：先生のピアノ演奏に合わせてリトミックや和音笛（コーデル）の演奏に取り組み、音を奏でる喜びや楽しみを味わう教育実践を行う。

○歌唱活動（頭声発声による合唱）

- ・3歳児以上：頭声発声で歌い、より音程や表現が豊かとなるよう指導を行っている。

主に唱歌や合唱曲を選曲し、歌詞の抒情や背景を感じながら指導をしている。毎月の誕生会では、一か月の成果を披露する機会としている。

- ・0,1,2歳児：童謡や手遊び歌に親しみ、仲間と歌う喜びや楽しさを味わう。

3. その成果と評価

毎日の保育で取り組むミュージックステップや歌唱活動を行うことで着実に音感が付きはじめ、楽しみながらできている。これらの体験を通して、音楽的な感性を磨く他にも、集団による音楽活動を通して自主性や判断力、集中力、協調性、積極性などが身に付き、素直な子供の姿が見られている。3歳児から本格的な歌唱指導を行い、それらの積み重ねのある4,5歳児においては二部合唱にもチャレンジした。

保護者からも「子供の音感がついたと感じる」「子供達の美しい歌声に驚いている」など高評価をいただいている。



4. 今後の課題と展望

日々の音感教育を通して身についた能力や表現力を発表できる機会を多く取り入れ、より達成感や充実感を養う保育を展開する。(月毎の誕生会、クリスマス会、発表会等)

また、今後は幼児音楽コンクールへの出場を目指し、日々の遊びや音楽活動を通して、豊かな子供を育んでいく。

